

# 授戒会のご案内

1、日時：令和7年5月3日（土祝）～5月5日（月祝）まで3日間

2、○伝戒師（でんかいし） 極楽寺第二十一世 鶴山 豊教

○説戒師（せっかいし）

知恩院本山布教師 鶴山 恒教上人（大分県国東市 蓮華寺 住職）

○回向師（えこうし）・教授師（きょうじゅし）

知恩院本山布教師 川端 勝教上人（山口県柳井市 長命寺 住職）

3、冥加料（参加費） 1名 五万円

（参加費の中に伝巻・浄衣・袈裟・念珠・昼食代を含む）

※申込書とお金を添えて極楽寺までお申し込みください。

4、贈授戒について（冥加料は1霊につき3万円）

「贈授戒」とは生前に授戒会を受けることができなかった方のために授戒会と同様の功德（くどく）を振り向けさせていただくものです。

5、常回向について（冥加料は1霊につき1万円）

常回向は授戒会中に毎日回向されありがたい和讃によって大勢のお坊さまによって供養されるととても尊いものです。先立った親、兄弟、子ども、先祖代々など今は無きご縁の深い方々、また戦病戦死不慮の死を遂げられた方々の追善のご供養を手向けられますようお勧めいたします。

※こちらは告知用です。

改めて授戒会入行申込書をお配りさせていただきます。



## 子そだて奮闘記

今回は2人とも開宗850年の団体参拝に一緒に行った話をしたいと思います。

まさのりはそろそろ

1人で過ごすのが好きなようでバスの中でも1人で席に座り、知恩院や宿泊先でも頑張ってくれました。友達にお土産を買うようになってきたのはある意味成長ですね。和香菜は最近女の子らしさが出始めました。写真を撮るのも可愛いポーズを決めたり、可愛いものを選んだり。我儘なところがあるのはまだまだ幼いところ。団体参拝でご一緒してくださった皆様本当にお世話になりました。ありがとうございました。





# 『令和6年浄土宗開宗八五〇年記念』 団体参拝



去る10月7日～8日の1泊2日で開宗八五〇年記念の団体参拝へ行ってきました。今回は極楽寺・正授院（尾道市）と極楽寺の住職が兼務している普門寺（尾道市）のお檀家さんと一緒にお参りさせていただきました。

7日にバスにて知恩院へお参りいたしました。御影堂へお参りしたときには晴天でしたが、ガイドさんによる参拝ツアーが始まった途端、見る見るうちに空に雨雲がかかり、バケツをひっくり返したかのような土砂降りになってしまいました…。夜は滋賀県の琵琶湖グランドホテルに宿泊し、琵琶湖の見える温泉を堪能させていただきました。

2日目は朝から肌寒く曇り空でしたが、井筒八つ橋の工場や京都国立博物館にて8日より開催の企画展「法然と極楽浄土」の初日へ行きました。この企画展は浄土宗の肝入りとあってかなり見応えがありました。最後にお線香やお香の老舗「松栄堂」さんへの大人の工場見学をして一同、一路広島への帰路へ着きました。

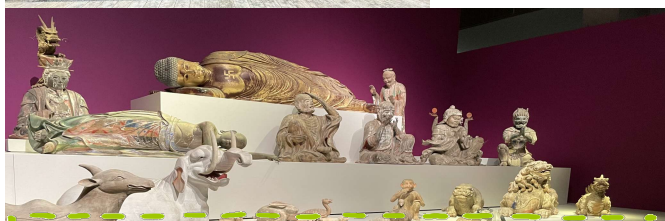


(上) 山門の前で記念写真

(下) 御影堂前までは晴れていたのに…この後すごい土砂降りに



今回の団体参拝、最年少 なんと小学校5年生おじいちゃんと一緒に参加してくれました。



(上) 京都国立博物館にての「法然と極楽浄土」展へ

(下) 立体の涅槃図はかなり壮大な作りで迫力満点



日本に2個しかないという香時計(こうどけい)香が紐を燃やすと玉が落ちてドラが鳴る仕組み